

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（証券コード:9684）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

A +
安定的

■格付事由

- 大手ゲームソフト会社を傘下に置く純粋持株会社。「ドラゴンクエスト」（DQ）、「ファイナルファンタジー」（FF）などの有力 IP（Intellectual Property）を保有する。デジタルエンタテインメント（DE）事業を主力とし、HD（High-Definition）ゲームをはじめ、MMO（Massively Multiplayer Online）やスマートデバイスゲームを展開。アミューズメント事業や出版事業も行う。23 年 6 月に経営体制を一新し、DE 事業においてコンテンツ開発とパブリッシング体制の両面から機能強化を進めている。当社グループの一体性は強く、格付はグループ全体の信用力を反映している。
- DE 事業を中心にグループ全体で安定した収益力を維持している。HD ゲームでは FF シリーズの最新作やリメイク作の発売など既存 IP の強化を図っている。一方、MMO やスマートデバイスゲーム、出版事業といった継続収益基盤の底上げも図られている。ヒットビジネスというゲーム業界の特性上、一定の業績変動は生じうるが、継続的にヒットタイトルを創出してきたこれまでの実績を踏まえれば、今後も堅調な業績を維持できると JCR はみている。健全な財務体質にも変化はない。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 24/3 期の営業利益計画は 550 億円（前期比 24.1%増）。主力の DE 事業では第 4 四半期に大型タイトル「FINAL FANTASY VII REBIRTH」の発売が予定されており、その販売動向が注目される。出版事業ではデジタルを含め販売が堅調であるほか、コロナ渦からの人流回復が追い風となっているアミューズメント事業も好調に推移している。25/3 期からスタートする次期中期経営計画では収益性向上に向けた具体的な戦略が示される見通し。新規 IP の創出を含めたタイトルポートフォリオの多様化や開発体制の見直しによる生産性向上などの取り組みに注目している。
- 財務基盤は強固である。24/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 79.1%（前期末 79.1%）と良好な水準にあるほか、長期にわたりネットキャッシュ状態にあるなど資金面での余裕度も高い。事業投資はコンテンツ制作が主体で、設備投資負担は比較的軽い。近時は大型タイトルの開発に伴いコンテンツ制作勘定が増加傾向にあるが、同勘定の評価損発生リスクに対しては十分な自己資本が確保されており、財務面で信用力に大きな下押し圧力がかかる懸念は小さい。

（担当）本西 明久・村松 直樹

■格付対象

発行体：株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年2月8日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル